

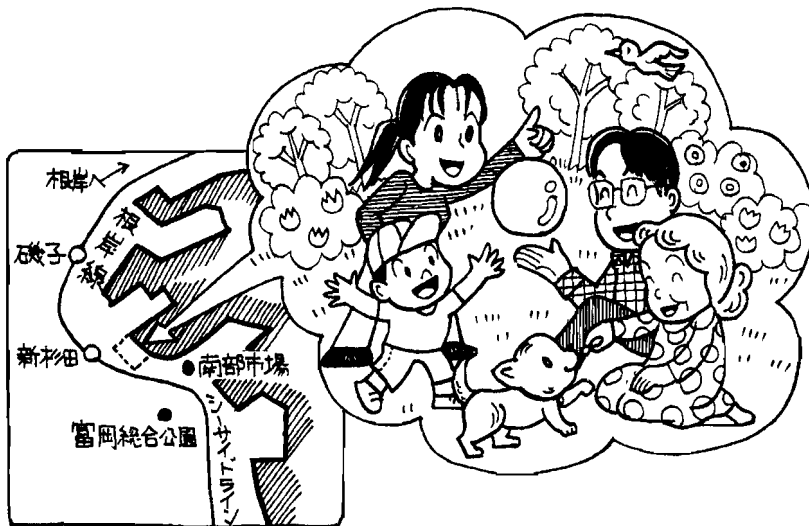
まつもと じゅん 松本純

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



松本純ホームページ 毎日更新中！ [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp) ▶検索キーワード「松本純」

磯子の海に浜辺を再生させる「杉田臨海緑地」着工へ 区民と行政の協働で実現させた夢の計画！



埋め立てによって砂浜が消えた磯子区に杉田臨海緑地（仮称）を創造する事業が、本年度から本格的にスタートします。この計画に最初から関わってきた私も、熱心に取り組んできた区民の皆さんと喜びを分かち合いたいと思います。

磯子区の臨海部は昭和30年代から埋め立てが進み、工場や事業所が誘致されました。日本全体が経済成長に向けて全力疾走していたときですから、それは「時代の要請」といえるものでした。しかし、

さらに時代が過ぎて、いまかつての砂浜を懐かしみ、「海とふれあえる場所がほしい」という区民の皆さんの声が高まってきました。

杉田臨海緑地構想は、そんな声を受けて平成16年度にスタートしました。その方法がユニークでした。地域住民や学校関係者らが参加して、行政とともにワークショップや意見交換会を何回も開いて基本設計を練り上げたのです。横浜で初めての本格的な市民参加によるプロジェクトといっていでしょう。

基本計画によると、3.3ヘクタールの広さをもつ臨海緑地には、親水護岸の建設によって磯場が誕生します。砂利の浜辺も復活し、海水が入る池もつくられます。訪れる人は海風を感じながら広場を散歩し、ハゼなどの魚や海藻などを自然の姿のままに観察することができるようになります。

2月28日、磯子区連合町内会の宮嶋修会長ら地元代表と横浜市港湾局長、磯子区長らが国土交通省港湾局長に面会しました。平成19年度の国の予算で杉田臨海緑地建設を認めてもらうためです。同席した私も、市民・行政協働による計画づくりを強調して予算化を強くお願いしました。

その結果、19年度事業費として2000万円が予算に盛り込まれました。事業は4年計画で進められ、全体の事業費は7億1000万円にのびます。磯子区は本年度に区制80周年を迎えます。その記念事業は区民提案によって、一部の整備が完了する臨海緑地を会場として行われる予定だそうです。磯子の皆さんが、自らの手で実現させようとしている夢の計画を、私は今後も全力で支援してゆきます。

松本議員の国会レポート④

平成19年

【3月24日(土)】

- 午前7時30分 ●純友会
- 午前11時30分 ●故鈴木利勝氏告別式
- 午後3時 ●第4回「寿デイ」
- 午後6時 ●松純会春の懇親会

【4月8日(日)】

- 午前5時 ●実践倫理宏正会朝起き会
- 午前7時15分 ●統一地方選投票
- 午前7時30分 ●末吉町昭和会
- 午前9時30分 ●第38回中村太郎杯争奪剣道大会
- 終日 ●統一地方選のお祝い・激励

【4月13日(金)】

- 午前8時 ●石油資源等エネルギー調査会
- 午前9時10分 ●国会対策正副委員長打ち合わせ会
- 午前11時30分 ●厚生労働委員会
- 正午 ●第3回国土交通等勉強会
- 午後0時45分 ●代議士会
- 午後1時 ●本会議
- 午後3時 ●法務委員会厚生労働委員会連合審査会
- 午後3時30分 ●藤井議員の政治活動を応援する女性の集い

ボランティアの若者たちや勤労者福祉協会の皆さんらによって町の姿が変わりつつある寿町の寿福祉プラザに一坪縁台がお目見えしました。畳2畳ほどの縁台は、2台が花壇として使われ、2台が腰掛けになったり将棋・オセロ板になったりします。お披露目には、町とは縁の深い作家の山崎洋子さんも出席され、寿町の新しい名物の誕生をとともに喜びました。この後、外国人の宿泊も多いヨコハマホステルビレッジでパーティーが開かれました。

故中村太郎氏は東京・杉並区の剣道場「大義塾」の第2代塾長。神奈川県警に勤め、全日本剣道大会で優勝2回、準優勝2回という名剣士でした。塾は中村藤雄さんに引き継がれ、会長の衆院議員・石原伸晃さんやOB会会長の林家木久蔵さんらのサポートで運営されています。磯子でタクシー会社を経営されている太郎氏の弟さんが私を支援してくださっているという縁で大会に出席しましたが、ちびっ子剣士たちの元気のいい掛け声が印象的でした。

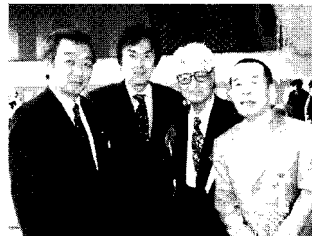
国民投票法の与党修正案が衆院本会議で自民・公明両党などの賛成多数で可決されました。与党修正案は①国民投票の対象は憲法改正に限定②投票権者は18歳以上(当面は20歳以上)③法施行は公布の3年後一となっています。さらに付則で、法施行までに選挙権年齢や成人年齢の引き下げを検討すると定めています。参院の審議を経て、今国会で成立する見通しで、憲法に憲法改正の規定はあっても手続き法がないという変則事態が解消されます。



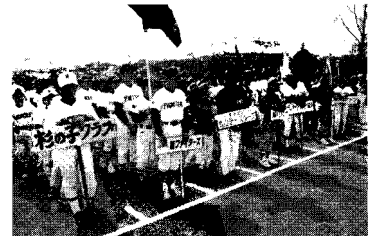
▲3/25「学校自慢エコ大賞」の実践部門で金沢区大道小が見事大賞受賞!



▲3/27「ハマの監督を盛り上げる集い」横浜ベイスターズ・大矢監督と



▲4/8「中村太郎杯争奪剣道大会」で石原会長、中村塾長、林家木久蔵師匠と



▲4/15「磯子区少年野球連盟春季大会開会式」で意欲に燃える選手達

永田町日記 戦いすんで…。金沢区から出馬した2候補への思い

統一地方選が終わりました。いつものように自分の選挙以上に結果が気になる選挙でしたが、金沢区から県会への復帰をかけて出馬した峯尾舜さんの夢が実らなかったのは大変残念でした。県議を2期務め、前回の落選から振り返きを目指し、その人柄が表れた「安全で安心な社会」「おもいやりのある社会」などを掲げての戦いでしたが、一歩及びませんでした。また、やはり金沢区から市会に初挑戦した本田正美さんは28歳の若さで、「お金をかけず、クリーンで楽しい選挙」を展開しましたが、約1900票差の次点でした。彼は「今後も横浜市政を見つめていくが、二度と立候補はしない」と言っています。新しい分野で活躍されることをお祈りします。(純)

まつもと じゅん プロフィール▶昭和25年4月11日、横浜市中区生まれ▶本町小、聖光学院中・高、東京薬科大卒、薬剤師▶本町小PTA会長、横浜JC専務理事、野毛大道芸実行委員長など街づくりや地域活動に取り組む▶平成2年～横浜市議(3期)▶平成8年～衆議院総選挙で初当選。専門を生かし医療・福祉・年金などに全力投球。介護保険制度を創設した責任者の一人▶平成12年～総選挙で次点落選▶平成15年～衆議2期目。総務大臣政務官に就任。▶平成17年～衆議3期目。総務大臣政務官に再任。三位一体改革、行財政改革など新しい日本の国形をつくるため奮闘。▶平成17年11月～議院運営委員会理事、国会対策委員会副委員長として国会運営等に取り組む。▶平成18年9月～安倍内閣で自民党副幹事長に